

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋東中学校

【取組内容⑤】「地域の将来や持続可能性」を検討するために、自ら課題を設定し、GISとGoogleworkspaceを活用しながら考察し、構想、表現する授業実践（Googleスライドにまとめる）

スライドを作成する際は、スライドを閲覧できる状態でクラスルームのストリームのコメント欄にリンクをコピーさせる。そうすることで、**スライドの保存と生徒全員の進捗状況を互いに参照しながら、学びを複線化し進めることができるよう工夫した。**

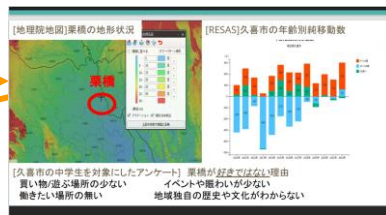


ベッタウンと栗橋らしさを生かした産業を両立させるまちへ

※ストーリー効果と終わらせたい「開発を目指す」

栗橋の特色と改善点

- 交通網が充実している（JR栗橋駅/久喜IC等） → 地元で働く人が少ない
- 少子高齢化 → 低地で田畑が多い → 祭りや静御前/八幡神などの文化がある
- 若者の東京流出/働き手の減少 → 住んでいる人が魅力（交通/農業/文化）を知らない → 近郊農業やベッタウンなどでしか交通を生かせていない
- 人口は増えているが、昼間東京に働きに行ってしまう人が多い



昼間ストーリー効果が起こってしまっている!!

多くの人が働きたいと思ひ、栗橋の魅力を生かした人口収集策を考へる必要がある!!

「背景」 「東京」とのアクセスの良さ 交通の良さ

住む・働く・楽しむ 3つの観点から考へる

交通網の充実さを生かした ペットタウン

目的: これからも栗橋に住み続けたいと思へるようひ、ベッタウンとしてもっと便利にしてく!! = 「住む」の観点

方策: 医療機関・商業施設・イベント等で利用できる割引券や、通ひ手段の交通状況などを市やまちのHP等で掲載したりする

効果: 栗橋に住み続けける人が増え、職場で栗橋について広めてくれる人や、栗橋の施設を利用してくれる人も増え、栗橋の収益につなげることが出来る

栗橋らしさを生かす 施設

目的: 若者も働きたいと思へるようひ、小売業と加工工場・農地を組み合わせた産業施設を建設する!

「働く」の観点

方策: 現在あるスーパー・マーケットの地下や2階・屋上などに加工工場・農地を増築し、土地を新たに広げることなく、六次化した産業をつくる

効果: 「農業」といふ栗橋の魅力を生かしつつも、働きたいと思へる若者も増え、栗橋に住んでいる人も利用しやすい施設になる

栗橋らしさを生かす イベント

目的: 栗橋に興味を持ってもらへるようひ、栗橋の特色である「農業」と「文化、歴史や祭り」を組み合わせた産業やイベントを企画する!

= 「楽しむ」の観点

方策: 寺院を巡る「八幡神巡り」などの文化と組み合わせ、栗橋産の農作物を使った料理を各所で販売する産業やイベントをつくり、地域の祭りでも交通網を使つて、多くの人来ってもらう

効果: 栗橋の魅力を知ってもらうことができ、交通網の充実を生かした観光客の呼び込みにつながる

栗橋で 住む・働く・楽しむ を支えて繋ぐ

[支援政策]

- 栗橋に住んで働いている人給付金(住む・働くの観点)
- 産業施設の増築・イベント開催に必要な費用補助(働く・楽しむの観点)

[教育連携]

- 学校行事や中学生を対象したイベントで栗橋の魅力を広める(住む・働くの観点)

☆開発後の対策☆

近畿地方の兵庫県三田市のように、開発後に人口流出が起こってしまわないうために開発の後にも設備が安く住みやすい地域として「働く・楽しむ」と共に「進化し続ける!!」

これからの栗橋の未来の在り方

ベッタウン → 人口増加 便利な地域 → 栗橋の魅力 知名度UP → 交通網の充実 → 働く人増加 → 産業施設 産業の活性 イベント

「住む・働く・楽しむ」の観点から交通網の充実を生かした、昼間ストーリー効果を引き起こし、3つの観点を組み合わせることで、終わらせたい「開発を目指す!!」

横浜市のようなベッタウンと地城らしい産業の両立させたまちを目標に掲げる